



後援会だより



みんなの笑顔が見たいから



後援会はさざんか福祉会と
障害のある方々を応援します！

名称募集

『後援会だより』では、あまりにも味気ない！そこで、シンプルで親しみやすい名称を募集します。ご応募は別紙にて、よろしくお願いします！

『後援会の刷新にあたり』

さざんか福祉会後援会会長 小田切隆幸

平素は、宝塚さざんか福祉会後援会にご支援、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

令和を迎えた後援会は、6月総会を機に新体制にて運営を始めました。今まで、多年に亘り事務局等の仕事を法人にお願いしていましたが、後援会でおおまかな実務を受け持つ事となりました。新体制では、副会長1名、会計1名を増員し、5人の執行部で事前に会議を持ち、速やかで能率的な運営を図ります。また予算の面では、法人各施設への助成等は減額致しますが、代わって永年劣化していく施設の改修助成金積立等に充当していきます。

また、機関紙も法人と後援会は別途の発行となります。楽しみになさってください。

後援会の一番の問題は、会員の減少です。どうか皆様、会員拡大にお力をお貸し下さい。

刷新にあたり、後援会で出来ること、やって欲しいこと等、皆様からのご意見を頂戴できますと、幸甚でございます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



発行 宝塚さざんか福祉会後援会
事務局 宝塚市安倉西3丁目1番5号 宝塚さざんか福祉会法人本部内
電話 0797-83-6544 Fax 0797-83-2510
印刷 Aプランニング



定期総会 開催

日時 2019年6月12日 午後1時
場所 宝塚市総合福祉センター



記念講演

『あらゆる若者と共に切り拓』



靴磨き職人としての生き方』

講師：(株)革靴を履いた猫
代表取締役 魚見 航大氏

【今後の展開】 現在「自分も靴磨き職人になりたい・やってみよう」という希望者の受け入れを進めています。また、より安定した仕事量の確保に向けて更なる展開を自治体とも連携して検討しています。

【仕事が変わる、可能性が広がる】 彼らと共に仕事をして感じたことや成果は、私自身にとっても大きな力となりました。

靴磨き職人の仕事から得た達成感で、彼らは自身自身に自信と誇りを持ちました。“もっと出来るようになりたい”という向上心が育ち、接客や計算業務、他人に教える等の仕事までこなせるようになっており、目覚ましい成長が見られます。

『人間は生き生きする場があれば、変わることが出来る！彼らと共に自分も可能性を広げて行きたい。生き辛さを抱える人たちが、いきいき輝く場を共に作っていききたい。』と強く思っています。

【きっかけ】 大学2年の時、大学構内の知的障害者カフェ（就労継続B型）での出会い・・・知的障害のあるベテラン店員の彼らが、新米で仕事が出来ない自分より賃金が低い。「世の中、何かおかしいんじゃないか!？」と思いました。

【職人修行】 彼らの特性を生かす仕事として、「職人」特に靴磨きが好ましいとカフェのおばさん（B型事業所責任者）に提案されました。即「やってみよう」と思い、まず自分で職人の技術を身につけようと、大学に通いながら大阪梅田の靴磨き専門店に修業しました。

あの武豊さん
もお得意さま
で〜す♡

【起業】 修行を経て、在学中に訪問型の靴磨きサービスで起業しました。カフェで共に働いていた知的障害者に、自分が身につけた靴磨きの技術を教えながら、共に靴磨き職人として働き始めました。最初は店舗がなく、企業を訪問し、預かった靴を専門技術でピッカピカに磨いて渡す形態でした。何よりお客さんの驚き喜ぶ顔が、みんなの大きな励みになりました。また、当社の取り組みがテレビでも紹介されました。そして2018年には京都市役所近くに店舗をオープン出来ました。



上：店頭に並んだスタッフ4名

弱冠25歳の魚見社長は、知的障害のある人達を同じ働く仲間と認め、その成長を支え喜んで来た道筋を話されました。さわやかな風が吹くような感動と希望を会場のみなさんに与えました。

あなたの入会をお待ちしています！

知的障害者とさざんか福祉会を支える後援会を皆さんで応援して頂きたいです。数年来の会員数と会費収入の減少は深刻です。現在、後援会の会員さんの過半数が一般市民の方々というのは素晴らしいこと！もっと啓発して増やしていきたいです。また一番身近な施設利用者のご家族の割合が45%しかないのは寂しい限りです。是非とも会員になって欲しいです。どちらも、どうぞよろしくお願い致します。

後援会 会員募集！

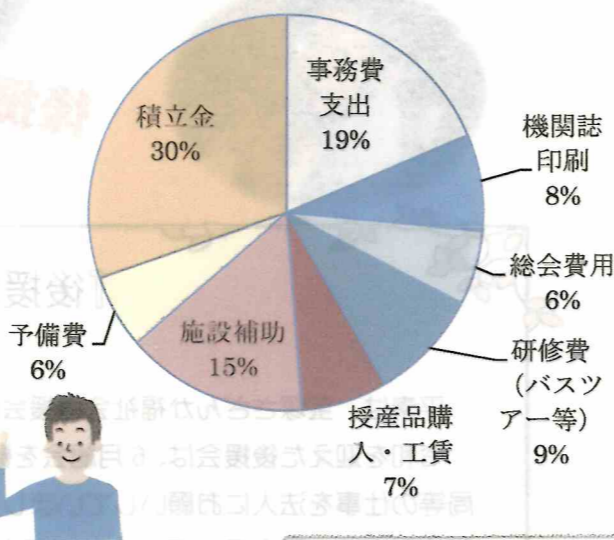
一般会員	1口	3,000円
特別会員	1口	10,000円
団体会員	1口	10,000円

※入会申し込みは、後援会事務局にお願いします。
電話 0797-83-6544 (さざんか福祉会)

◆2019年度計画

- ・例年の事業を見直しつつ実施
- ・新しく後援会単独で機関誌発行、啓発パンフレット作成
- ・法人への助成金のための積立
- ・予算は

収入合計 1,648,739円
支出合計 1,633,000円



今年度は運営経費や施設への一般補助を大幅に圧縮して、その分、積立金を含めた法人への計画的な応援を増やそうということだね。

後援会の経費も法人への助成も目的が明確でないものは控えることになったそうよ。メリハリつけたということかしらね。

◆会則改正

- ・法人と連携して後援会を運営できるように、理事会に法人代表者の出席を規定しました。
- ・後援会事務局を独立運営するために、役員(副会長・会計)を増員しました。

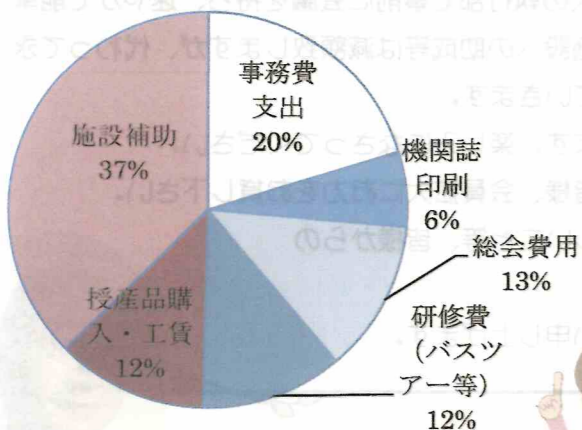
後援会は、サンQへの購入支援やお祭りの開催費用など、地域の人達と法人をつなぐお手伝いも果たしてきたのよ。

◆2018年度報告

- ・後援会として、さざんか福祉会(以下法人と表記)の各施設等を支援する活動
- ・後援会独自の活動として、淡路島福祉施設見学バスツアー、グループホーム等の法人事業所見学を実施
- ・法人と共同で機関誌「さざんか」を年2回発行
- ・決算は

収入合計 1,532,303円
支出合計 1,785,313円

単年度赤字257,749円は積立金取崩しで補填しました。
年度末積立金残高は1,400万円です。



運営費と法人への助成費が大体1/2ずつなのでね。

事業所市民見学会

3月13日(水)、参加者19名で山本丸橋にあるさざんか福祉グループホームオフィスと、同じ敷地内にあるグループホーム、近くのワークプラザ宝塚を見学させていただきました。グループホームオフィスは、所長をはじめ支援員、看護師等が24時間体制で利用者さんの生活を支えています。調理員の不足等により、現在全グループホームで夕食の食材を宅配のヨシケイに依頼しています。その結果、献立作り・買物作業の軽減化やサービス提供の平均化にもつながっています。献立コースはホーム毎で選ぶことができ、利用者さんの評判は良いそうです。丸橋ホームを見学させて頂いた後、ワークプラザ宝塚に徒歩で移動しました。ワークプラザは「働く広場」という意味とのこと。



企業提携の作業等をされています。ペットフードの袋詰め、菓子の箱折、宝塚のサンドイッチ店の箱折等を丁寧に手際よく仕上げられています。食品関係の仕事なので、白衣、帽子、手袋を付け衛生面も徹底されています。皆さん自分の仕事に自信をもって、黙々と作業されている姿が印象的でした。

(保護者 宿南敦子)



サマーフェスタ

令和元年8月20日(火) 末広中央公園

猛暑の中、今年もさざんか福祉会ではサマーフェスタに参加し自主生産品の販売が行われました。さをり織の手作り体験コーナーでは、小さな女の子が職員に手ほどきしてもらい、可愛い髪飾りが出来上がっていました。



「いらっしゃいませ！」元気な利用者さんの呼び込みのおかげで、この日の売り上げは50,020円だったそうです。

心配していたお天気も何とか崩れずに、最後は僅か3分間でしたが、夜空にきれいな花火が打ち上げられました。(広報部)



後援会から参加費の助成を頂きました



ご支援ありがとうございます

～寄付～2018年12月1日～2019年8月31日

(敬称略 単位:円)

井上史朗 4,000 川合陽美 4,000

小林みこころ会 10,000

清荒神清澄寺 50,000

松田博 3,000 齋藤経子 3,000

山岡久美子 2,000 匿名 2,000

～会員数～平成31年3月31日現在

242人

今年度より個人情報保護の観点から会員の個人名の掲載は控えさせていただきます。

広報ボランティア募集

現在広報部は女性5名、平均年齢70歳超(泣)何としても若い感覚を取り入れたい!!年1~2回の機関紙発行を予定しています。一緒に活動して下さる方をお待ちしています。

是非ご協力をお願いします!

(連絡は事務局まで)

♪編集後記♪

後援会だより第1号はいかがでしたか? 「後援会って何をしているの?」そんな疑問に答えるべく、限られた紙面ですが、出来るだけ多くの情報を分かりやすくお伝えしていきたいと思います。

(広報部:柴田、田村、乗鞍、藤巻、安武)